

# 小規模企業景気動向調査

[平成26年8月期調査]

～ 前月から一転、全業種で悪化した小規模企業景況 ～

2014年9月24日  
全国商工会連合会

## <調査概要>

調査対象：全国約300商工会の経営指導員

調査時点：2014年8月末

調査方法：対象商工会経営指導員による調査票への選択記入式

## <産業全体> ◇…前月から一転、全業種で悪化した小規模企業景況…◇

8月期の小規模企業景気動向調査では、産業全体の資金繰りDI(景気動向指数・前年同月比)は小幅に悪化、また、売上額、採算および業況DIは大幅に悪化した。業況DIの▲25.7ptは、消費増税後、最も低い水準である。経営指導員からは、①夏の行楽シーズンであったが、小売業・観光関連業は、天候不順の影響で悪化している、②消費増税後の落ち込みからの回復が期待されたが、未だ景気回復の実感を得るまでには至らないとの報告があった。

## <製造業> ◇…燃料費や原材料費の高騰が続き、悪化を示した製造業…◇

製造業の売上額、採算、資金繰りおよび業況DIは、大幅に悪化した。経営指導員から、悪化材料としては、①燃料費の高騰や電気代の上昇により、コストが増加し収益が圧迫されている、②食品関連で、大雨の影響で野菜の仕入価格が高騰し、採算が取れない、③繊維関連で、受注量が減少し、売上額が低下しているなどの報告があった。また、好転材料としては、自動車関連部品、機械部品及び建設資材関連で受注が増加しているとの報告があった。

## <建設業> ◇…受注の減少やコスト高などの影響で、厳しい状況となった建設業…◇

建設業は、資金繰りおよび業況DIは小幅に悪化、また、売上額および採算DIは大幅に悪化した。経営指導員から、悪化材料としては、①建築関連で、消費増税前の駆け込み需要の反動により受注が減少している、②人件費や資材価格の高騰が止まらず、収益が圧迫されているなどの報告があった。また、好転材料としては、①一部地域で、災害復旧工事など土木工事の受注が増加している、②住宅リフォームの受注が増加しているとの報告があった。

## <小売業> ◇…天候不順や消費増税の影響が続き、悪化に転じた小売業…◇

小売業は、資金繰りDIは若干悪化、また、売上額、採算および業況DIは大幅に悪化した。経営指導員から、悪化材料としては、①衣料品関連で、大雨の影響により、夏物の動きが不調で売上額が減少した、②食品関連で、大雨の影響による価格上昇から、野菜の売上額が減少した、③自動車関連で、消費増税の影響で売上額が減少しているなどの報告があった。また、一部に消費増税の駆け込み需要の反動が和らいできている旨の報告もあったが、総じて、好転を示す報告は少なかった。

## <サービス業> ◇…大雨の影響などにより、宿泊・観光関連を中心に悪化したサービス業…◇

サービス業の売上額、採算、資金繰りおよび業況DIは、小幅に悪化した。経営指導員から、悪化材料としては、①宿泊・観光関連で、大雨の影響でキャンセルが相次ぎ、売上額が減少した、②理美容業で、低価格店の増加により、顧客が奪われ売上額が減少している、③飲食関連で、消費増税分を価格に転嫁できず、収益が減少しているなどの報告があった。また、好転材料としては、クリーニング業で、長雨の影響により、売上が伸びたケースもあったとの報告があった。

業種	産業全体			製造業			建設業		
	7月	8月	前月比	7月	8月	前月比	7月	8月	前月比
売上額	▲ 13.1	▲ 20.5	▲ 7.4	▲ 4.5	▲ 14.1	▲ 9.6	2.4	▲ 7.4	▲ 9.8
採算	▲ 22.9	▲ 28.6	▲ 5.7	▲ 18.3	▲ 26.4	▲ 8.1	▲ 14.2	▲ 21.1	▲ 6.9
資金繰り	▲ 17.7	▲ 20.7	▲ 3.0	▲ 14.9	▲ 19.9	▲ 5.0	▲ 11.6	▲ 15.6	▲ 4.0
業況	▲ 20.4	▲ 25.7	▲ 5.3	▲ 15.6	▲ 23.3	▲ 7.7	▲ 7.1	▲ 10.0	▲ 2.9

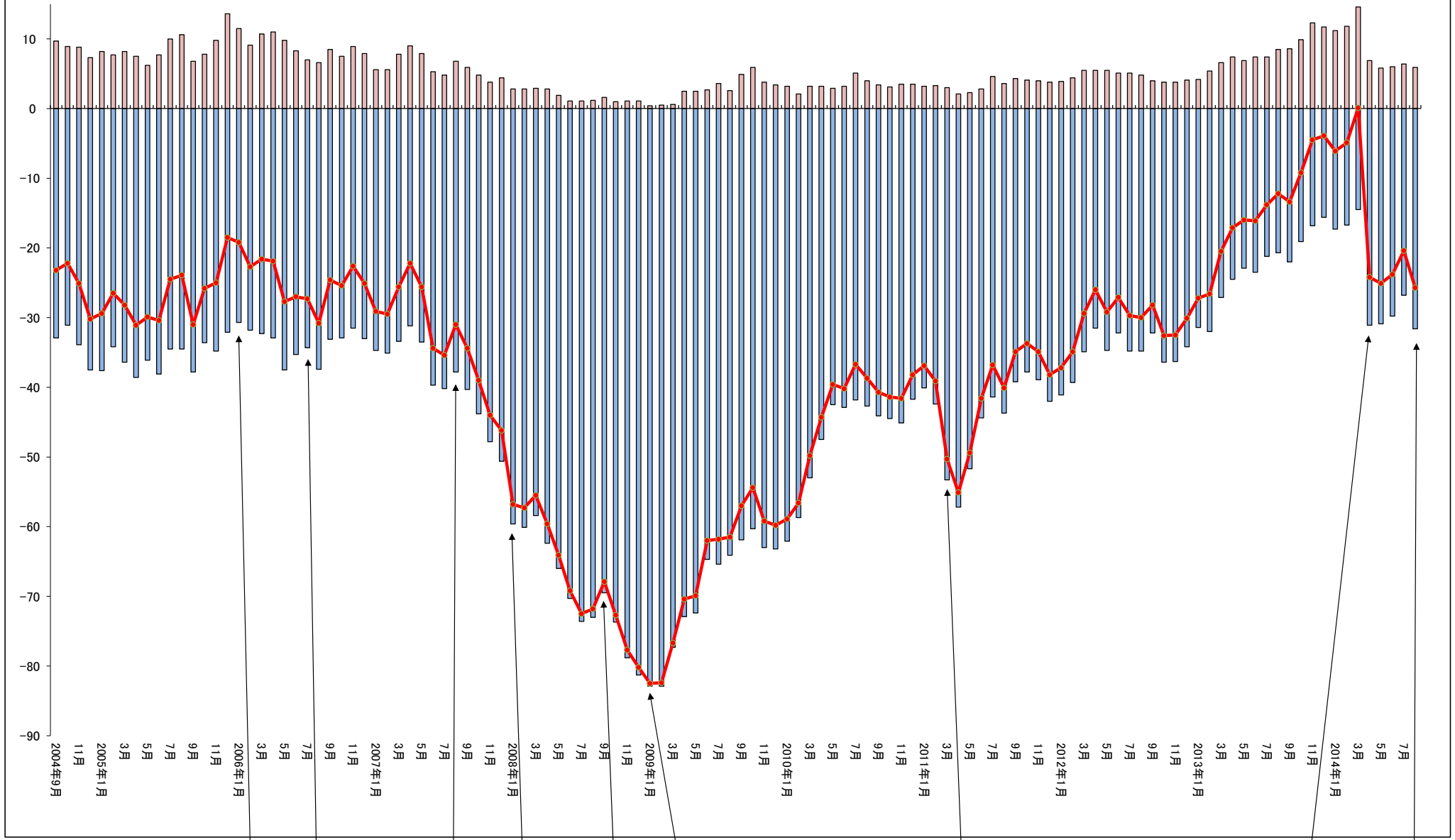
業種	小売業			サービス業		
	7月	8月	前月比	7月	8月	前月比
売上額	▲ 31.3	▲ 37.8	▲ 6.5	▲ 18.7	▲ 22.6	▲ 3.9
採算	▲ 33.6	▲ 39.1	▲ 5.5	▲ 25.5	▲ 27.9	▲ 2.4
資金繰り	▲ 27.1	▲ 27.9	▲ 0.8	▲ 17.1	▲ 19.5	▲ 2.4
業況	▲ 35.2	▲ 41.4	▲ 6.2	▲ 23.4	▲ 27.8	▲ 4.4

注) DI(景気動向指数)は各調査項目について、増加(好転)企業割合から減少(悪化)企業割合を差し引いた値を示す。

# 小規模企業景気動向調査(月次)

## 産業全体の業況…過去10年のトレンド…

■ 悪化  
■ 好転  
● DI



06年01月16日  
ライブドア強制捜査

06年7月14日  
日銀ゼロ金利政策解除

07年8月9日  
BNPパリバ、傘下の3ファンドの償還を一時凍結

08年1月2日  
NY原油先物初の100ドル突破

08年09月15日  
リーマン破産法適用申請

09年1月  
調査開始以来最低数値(-82.5)記録

11年3月  
東日本大震災

14年4月  
消費税率8%に引上げ

14年/8月  
-25.7

## 小規模企業景気動向調査(8月期)における商工会経営指導員の主なコメント

\* コメントについては、経営指導員回答の原文を掲載。

### 1. 景気全般

#### <改善傾向を示すコメント>

- ・ 上旬、建設業界で一部受注が途切れる企業があったが、お盆以降は持ち直した。また、バス製造業は受注が多く、忙しくなっている。  
(富山県富山市南商工会)
- ・ 区画整理に伴う人口流入があり、理美容業などのサービス業等が好調に推移するとともに、アパートの建築などが好調。  
(沖縄県八重瀬町商工会)
- ・ 製造業は好調を維持。  
(岡山県瀬戸内市商工会)

#### <悪化傾向を示すコメント>

- ・ 消費増税の反動もあり持ち直すかに見える消費動向だが、小売商店や商圈エリアが狭い地域密着型の事業所は一層厳しさを増している。  
(広島県呉広域商工会)
- ・ 景気が上向いてきたとの話も聞かれるが、現場(事業者)にとってはその実感はないとの意見が多数を占めている。  
(静岡県浅羽町商工会)
- ・ 夏休みにあたり週末に雨が多いためか観光客商売の業種は例年に比べ厳しい状況である。  
(大分県九重町商工会)
- ・ 燃料高騰、天候不順による農作物の不作、基幹産業である茶の消費低迷等、管内では厳しい状況が続いている。  
(鹿児島県南九州市商工会)
- ・ 全業種で仕入材料単価の上昇が見られ、資金繰りに苦慮している傾向が見られる。  
(熊本県錦町商工会)

### 2. 製造業

#### <改善傾向を示すコメント>

- ・ 自動車部品関連、機械部品関連等は受注増で忙しい。  
(長野県阿智村商工会)
- ・ 携帯電話等に係る製造業の受注の伸びが著しい。  
(京都府向日市商工会)
- ・ 建設資材関連は、東京等での建設工事が好調のため、引き続き好調である。  
(石川県白山商工会)
- ・ 電子部品・電気部品製造業は、スマートフォンやLEDの売上が好調なため順調に推移している。  
(秋田県よこて市商工会)

#### <悪化傾向を示すコメント>

- ・ 食品製造で、天候不順による野菜等の高騰、ガソリン等燃料価格の高止まりから採算に影響が出ている。  
(長崎県三重商工会)
- ・ ニット製造業は依然厳しい状況が続いており、今後の受注状況が読み難い。原材料不足や、メーカーの発注が天候不順等により遅れたり、また枚数の減少がある。  
(山形県山辺町商工会)
- ・ 燃料費や電気料等のコストが増加しており、採算性に問題を抱えている。  
(青森県大畑町商工会)
- ・ 製造業全体として、大手企業の生産拠点の海外シフトにより受注が減少傾向である。  
(栃木県矢板市商工会)

### 3. 建設業

#### <改善傾向を示すコメント>

- ・ 土木工事関連は、しばらくは公共事業がまだまだ多く、好調が続く見込みである。  
(香川県さぬき市商工会)
- ・ リフォーム等の受注が増加している。  
(埼玉県鳩山町商工会)
- ・ 建設業は、来秋予定の消費増税が起因しているのか、昨年に引き続き受注工事が多く、一般的に業況が良い。  
(佐賀県唐津上場商工会)
- ・ 住宅着工が増えつつあり、景気は上向きの様子。土木業においても、公共工事が好調のためか仕事がある様子。  
(福岡県芦屋町商工会)

#### <悪化傾向を示すコメント>

- ・ 公共工事も少なく、また民間からの受注も少ないため、大変厳しい状況である。  
(静岡県浜名商工会)
- ・ 建築関連の業者の一部に、消費増税前の駆け込み需要の反動による受注の低迷が見られる。  
(熊本県芦北町商工会)

- ・固定費の高止まり、資材高騰の傾向が続いていることから、この先、利益率好転の兆しがなかなか見えない。  
(宮城県みやぎ仙台商工会)
- ・仕入単価の上昇が依然続いているため、見込みより利幅が出ていない。また、人件費の上昇も伴っている。  
(岩手県大槌商工会)

#### 4. 小売業

##### <改善傾向を示すコメント>

- ・消費増税の駆け込み需要の反動が和らいできており、以前の水準に戻りつつある。  
(栃木県芳賀町商工会)
- ・一般食料品小売業は、中元時期ということもあり、前年同水準を確保した模様。  
(福島県大東商工会)

##### <悪化傾向を示すコメント>

- ・食品は、天候不順による客数減と野菜高騰により売上が減少している。衣料品は、天候の影響で、夏物最終バーゲンが不発に終わった。耐久消費財は、エアコンが思いのほか売れず、在庫増となった。  
(京都府与謝野町商工会)
- ・食品は、不順な天候だったため、価格が上昇した野菜と、飲料の売上が減少した。  
(岡山県備前東商工会)
- ・自動車関連は、消費増税後、売上が停滞している。  
(鹿児島県日置市商工会)
- ・衣料品関係及び耐久消費財関係は消費低迷から依然として厳しい状況であり、売上が減少している。  
(東京都日の出町商工会)
- ・ガソリンスタンドで、顧客が安売り店へ流れる等、消費増税が徐々に響いてきている。  
(山梨県身延町商工会)

#### 5. サービス業

##### <改善傾向を示すコメント>

- ・洗濯関連は、長雨により、クリーニング・コインランドリー等が売上の伸びを見せた。  
(長崎県雲仙市商工会)
- ・景気好転の影響か、理美容業の創業相談が増えている。  
(新潟県朝日商工会)
- ・旅館については、新幹線工事関係者が継続して宿泊しており、安定している。  
(青森県外ヶ浜町商工会)
- ・飲食関連は、お盆休みや夏休みの影響があり、客足が微増した。  
(岐阜県山県市商工会)

##### <悪化傾向を示すコメント>

- ・観光・宿泊関連業は、長引く天候不順のためキャンセルが多く、例年に比べ大幅な売上減となっている。  
(高知県黒潮町商工会)
- ・理容関連は、安価で利用できるチェーン店が増えてきているため、個人店を取り巻く環境は厳しくなる一方である。  
(群馬県中之条町商工会)
- ・飲食業は、消費増税後もポッキリ価格での競争になっており、仕入原価は上昇傾向にある一方で品質を落とすわけにもいかず、適切に価格転嫁できていないため収益率が悪化傾向にある。宿泊業も、道路事情の変化や近隣観光地との競争で、入込客が減少傾向にある。  
(島根県石中央商工会)
- ・洗濯関連は、「クールビズ」の影響なのかワイシャツの取扱量が年々減っている。理・美容関連は、猛暑により年配者の来店が減っている。  
(東京都調布市商工会)